

CSR Report
2018





Corporate Social Responsibility 2018

Contents

P.3	ステークホルダーの皆さまへ	P.17	お客様とともに [開発本部]
P.5	会社概要	P.19	従業員とともに [人事部]
P.7	CSRの考え方	P.21	取引先とともに [生産本部]
P.9	品質方針	P.23	株主とともに [総務部]
P.10	環境方針	P.25	地球環境のために [施設環境室]
P.11	特集 安全・安心な製品をお客様のもとへ	P.27	企業ガバナンス
P.13	お客様とともに [品質統括部]	P.29	安全・安心な職場づくり
P.15	お客様とともに [営業本部]	P.30	社会貢献

編集方針

2002年度に「環境レポート」を発行し、環境保全に関わる取り組みの報告を開始しました。2005年度からは「社会・環境報告書」と名称を改め、持続可能な社会構築に向けて、CSR(企業の社会的責任)の考え方や活動について報告を始めました。さらに、2015年度からCSRに対する取り組みを、社会の実情に応えるべく、名称も「CSR報告書」として発行しています。私たちは、CSR経営方針に掲げた5つのテーマを重点課題と位置づけ、さまざまな活動に取り組んでいます。今回、「安全・安心な製品をお客様のもとへ」を特集として取り上げました。当社では、このCSR報告書を企業コミュニケーション活動の重要なツールと考え、分かりやすくお伝えすることを目指して作成しています。今後の活動の参考とさせていただくため、添付のアンケート用紙から皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



対象期間 2017年4月1日～2018年3月31日
対象範囲 本社・開発本部・名古屋工場／菊川工場／
磐田工場／掛川工場／中津川工場／
唐津工場／栃木野木工場／東北日東工業(株)
発行時期・部署 2018年10月 広報室 広報課

ステークホルダーの皆さまへ



取締役会長 CEO
加藤 時夫

取締役社長 COO
佐々木 拓郎

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

人へ、社会へ。電気と情報を明日へつなげるために、私たちの技術があります。

2018年11月に設立70周年を迎えます。

これまで支えていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

1948年の設立以来、私たちは電気設備や機器の開発・提案を通じて
電気や情報のインフラを、毎日の暮らしから産業までのさまざまなシーンで
サポートしてきました。

私たちは美しい地球を次世代へつなぐことに貢献するため

環境に配慮した製品づくりを進めています。

開発段階から製造、製品の輸送、

そしてお客様による使用から廃棄まで環境に配慮することで

お客様が当社の製品をご利用いただくことが、地球環境への貢献につながる

そんな「しくみ」の構築を進めています。

また、皆様にご満足いただける新たな価値を創造し続けるために、

IoT・AIなどの技術革新に対応する新たな価値の創造に注力するとともに、

耐震試験や風雨試験などの性能評価試験を行うことで、

安全・安心な、より高い品質の製品・サービスを提供してまいります。

これからも、私たちならではの取り組みにより

社会の持続的な発展に寄与するとともに、お客様に共感していただける

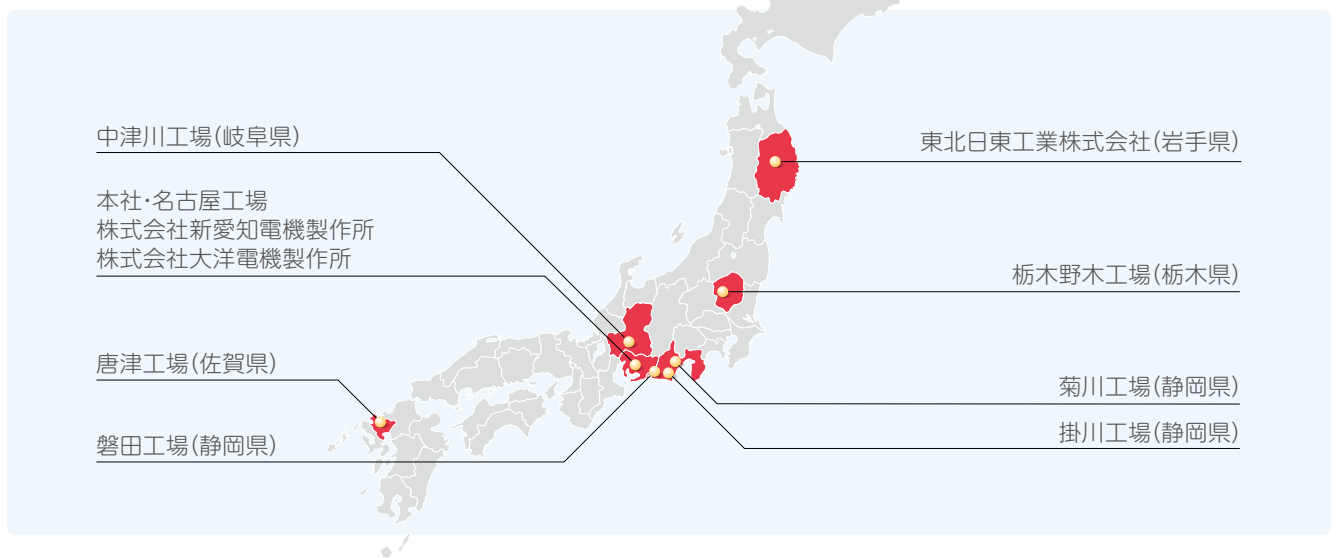
「電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指して邁進していきます。

会社概要

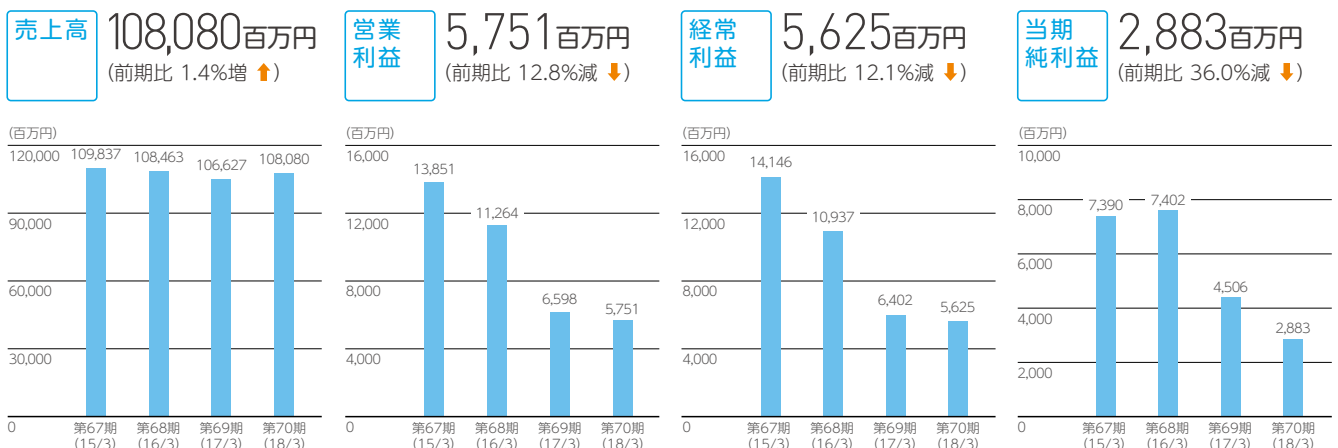
会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	日東工業株式会社	事業内容	電気機械器具および その商品の製造ならびに販売 他
英文社名	NITTO KOGYO CORPORATION	工場	名古屋、菊川、磐田、掛川、中津川、唐津、 栃木野木、東北日東工業(花巻)
本社	〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地	主要営業所	札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、静岡、 名古屋、大阪、京都、広島、高松、福岡など 全国45カ所* <small>※ソリューション営業部を除く</small>
設立年月日	1948年11月24日		
資本金	65億78百万円		
従業員	連結 3,100名 単体 1,761名		

生産拠点



財務データ (連結業績)



事業概要

配電盤

高圧受電設備 (キュービクル)



発電所から送られてくる電気は非常に電圧が高いため、これを一般的に使用されている電圧へ下げたための機器を箱に納めたもの。店舗などで使用される。

標準分電盤



電気を安全に使用するために必要なブレーカなどの機器を1つにまとめ、箱に納めたもの。

制御盤



工場内の機械やマンションの水タンク用ポンプなどを操作するための機器を箱に納めたもの。

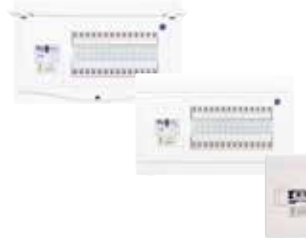
充電スタンド



※充電スタンドは、株式会社豊田自動織機と日東工業株式会社による共同開発製品です。

電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHEV) を充電するために、電気を供給する充電スタンド。

ホーム分電盤



住宅内の照明やコンセントに電気を供給する。電気の使い過ぎなど危険がある場合は自動的にブレーカを切り、安全を守る。

光接続箱



インターネットなどで使用する光ケーブル同士を繋いだ部分を、安全に守るための箱。

キャビネット

キャビネット



機器の収納、機器への接触防止などを目的とした箱。使用場所、条件によって、形状や材質が異なる。

プラボックス



用途はキャビネットと同じだが、材質がプラスチックのもの。軽量であり錆に強いなどの特徴がある。

システムラック



インターネットやCATVなどに使われる通信機器を収納するための箱。

遮断器・開閉器

ブレーカ、開閉器・端子台



電線同士を接続する際に使用する機器。特にブレーカは電気を使い過ぎた場合などに自動で電気の流れを止める役割を果たしている。

パーツ・その他

熱関連機器



キャビネット・盤などの内部の熱を外部へ逃がすためのルーバー・換気扇や、内部を冷却するためのクーラなどがある。

盤用パーツ



分電盤に使用する銅バーや電力計の数値を確認するための窓など、当社製品に使用されている部品をパーツ化したもの。

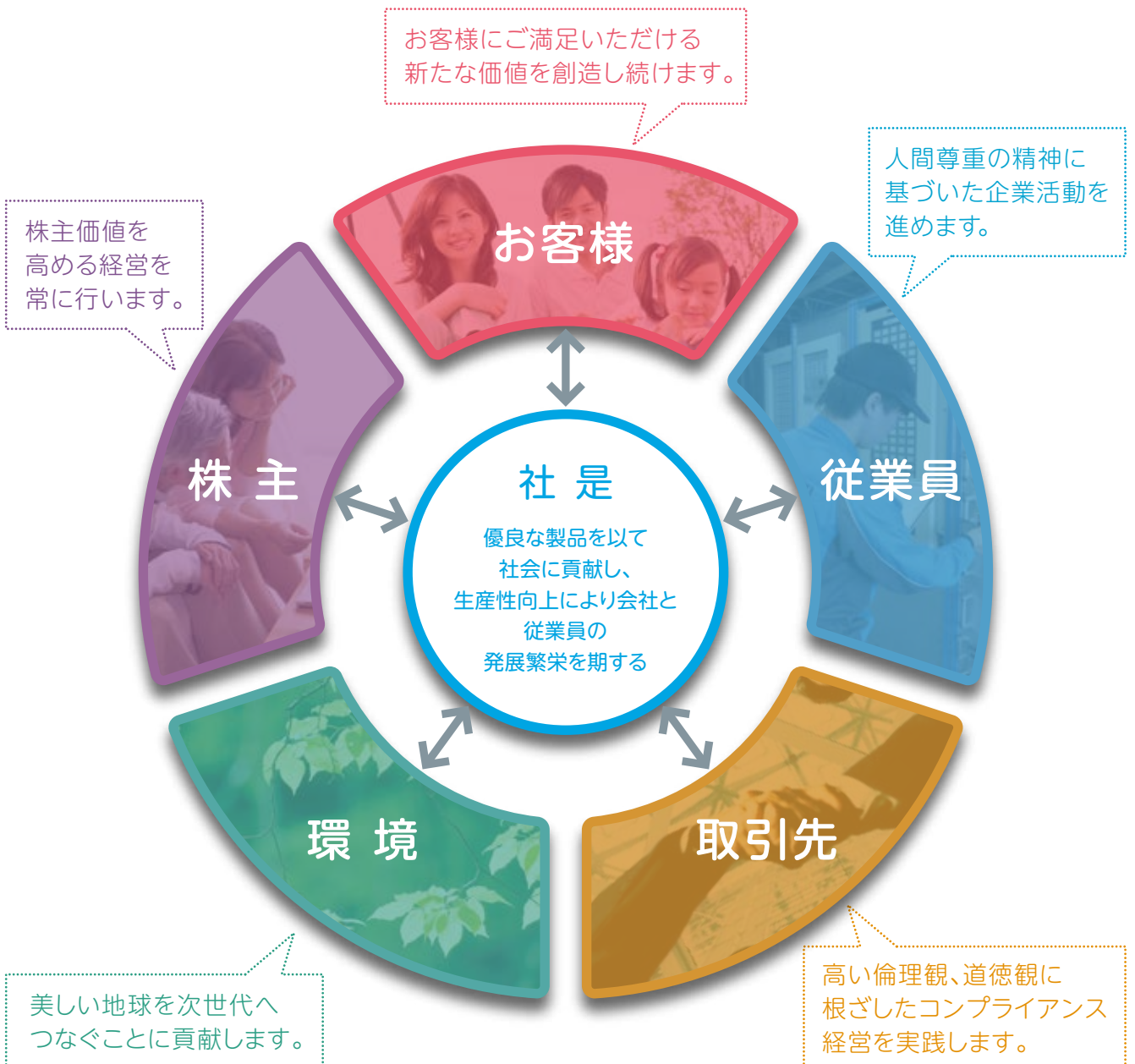
CSRの考え方

当社は、設立以来「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」を社是として、この思いを大切に、いつの時代も変わることなくお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけてきました。

しかし、急速に変わる時代の流れとともに求められる価値が変わってきています。

わたしたちは、従業員ひとりひとりが同じ価値観を持ち、お客様や社会の皆様の声に耳を澄ませながら、自然や地域社会との共生を目指していきます。

さらに、日々の企業活動の中で、日東工業だからこそできる価値を追求し、5つのCSR経営方針を実践することで、「信頼、技術、貢献～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。



社 是	優良な製品を以て社会に貢献し、 生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する。
経営理念 (CSR経営方針)	<ul style="list-style-type: none"> • お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます。 • 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます。 • 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します。 • 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します。 • 株主価値を高める経営を常に行います。
長期ビジョン	信頼、技術、貢献～ 電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

企業行動規範

項 目	主な内容
社会的規範の遵守	日東工業グループは、法令や社会的規範、社会的良識に基づいた事業活動を行います。
社会的に有用な 製品・サービスの提供	日東工業グループは、安全性・環境保全などに十分配慮し、お客様に満足していただける優れた品質の製品・サービスを提供します。
公正な取引と 健全な事業活動	日東工業グループは、公正かつ自由な競争の確保が、市場経済の基本ルールとの認識のもとに事業活動を行います。また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持するとともに、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人・団体とは一切係わりません。
企業情報の管理と 公正な開示	日東工業グループは、保有する秘密情報や個人情報については、それらが漏洩することのないよう適切な情報管理を行います。会社情報の開示に関しては、必要と認められる情報を、株主・投資家はもとより広く社会に対し積極的に開示します。
知的財産の尊重	日東工業グループは、知的財産の重要性を認識し、その管理に細心の注意を払います。また、第三者の権利を尊重するとともに、自らの権利を守り防衛します。
環境保全への取り組み	日東工業グループは、事業活動を行うにあたり、資源の有効活用・再資源化・省エネルギー・廃棄物の削減・環境汚染の予防に努め、豊かで健康的な社会の環境作りに貢献します。
社会貢献	日東工業グループは、地域・社会との連携と協調を図り、良き企業市民としての役割を積極的に果たします。
安全で働きやすい 職場環境の実現	日東工業グループは、社員のゆとりと豊かさを実現し、快適・安全で清潔な職場環境を確保するとともに、社員の人格・個性を尊重し、差別のない自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
国際ルールの遵守	日東工業グループは、事業活動にあたり国際ルールを遵守するとともに、諸外国の文化・慣習を尊重します。

品質方針

お客様に、当社製品を安全・安心にご利用いただけるように、日東工業グループでは「安全・安心な、より高い品質の製品・サービスをお客様に提供する」を品質方針として、お客様第一主義に基づくサービス体制を進めています。

品質方針

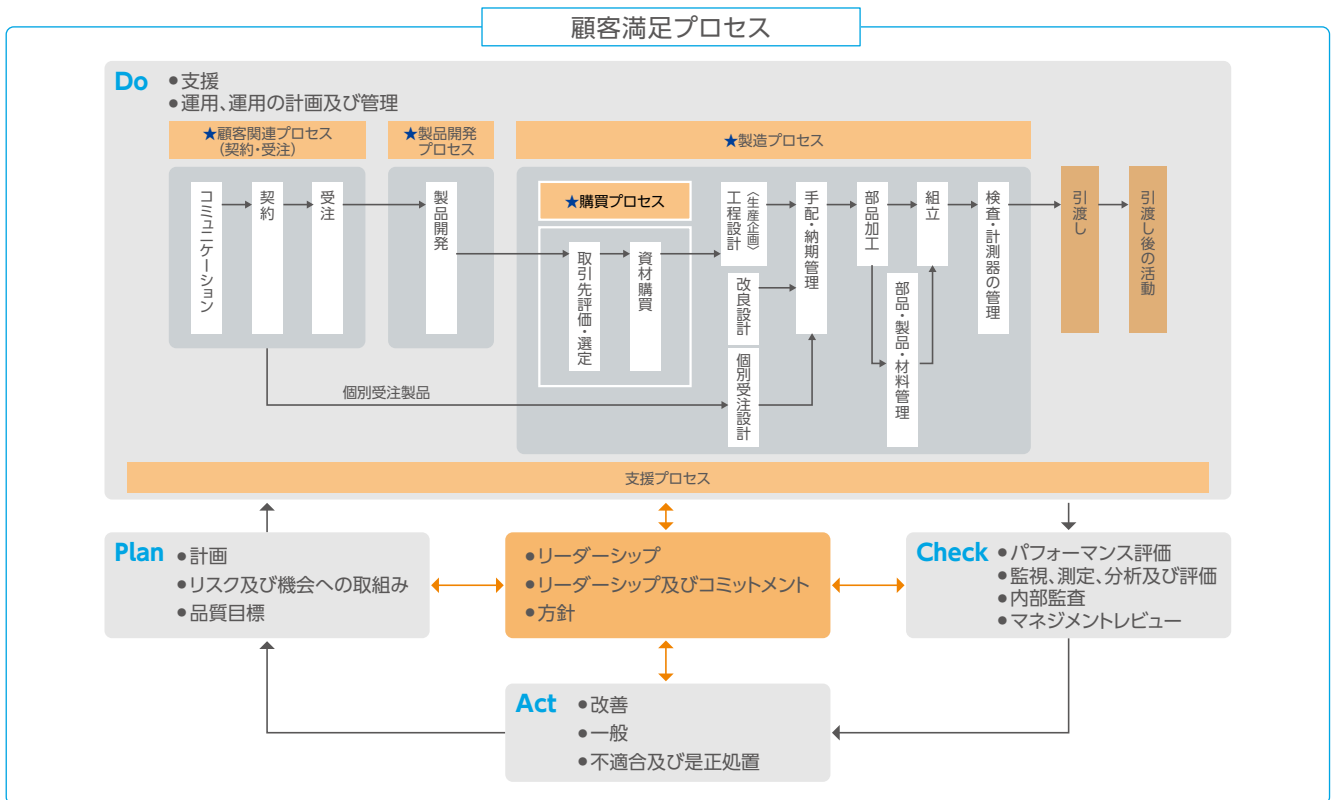
安全・安心なより高い品質の製品・サービスをお客様に提供する

品質目標

品質改善の推進

品質保証体制

お客様満足度向上を図るために、当社では「品質統括部」を設置し、社内規程に「品質・環境マニュアル」を定め、専門委員会(品質委員会)を通して、問題点の改善に向けたPDCAを回しています。



ISO9001の認証を取得

1997年7月4日に菊川工場で品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、現在は、全工場(東北日東工業株を含む)・全営業所で取得しています。



品質教育

品質マネジメントシステムを実施し、お客様満足度を高めていくために、社員一人ひとりの能力向上は必要不可欠です。当社では、個々の能力に応じた教育カリキュラムを作成し、品質能力の向上を進めています。

教育内容	対象者
品質マネジメントシステム(一般教育・基礎)	新入社員・中途入社社員
品質マネジメントシステム(一般教育)	新任課長・所長
QC7つ道具	全社員
QCサークル研修	推進者・リーダー
ISO9001内部監査員資格取得教育	課長職
品質特別教育	関連部門
QC工程表のつくり方	関連部門
品質目標に関する教育	全社員

環境方針

当社では、1994年度の環境方針策定以来、長期的な展望に立脚して地球環境保全活動に努めています。
2001年3月にISO14001の認証を受け、継続的に環境活動を進めています。
2015年には、ISO14001が改訂され、当社も2017年度より2015年版に適合した環境活動をスタートしています。
今後も、製品・サービスをととして、より環境保全へ貢献していきたいと考えています。

環境方針

理念

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業の自己責任として効率的な環境管理システムを構築し、事業活動・製品及びサービスの全ての活動において、「CO₂排出削減」「廃棄物の発生抑制」「人と自然との共生」を推進し、持続可能な社会の確立へ寄与します。

方針

当社グループは、「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代につなぐ」企業として以下の原則を履行します。

1 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。

事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下の環境目標を定め、環境保全型企業を目指します。

2 ・製品環境負荷の削減(エコ製品化) ・有害化学物質の使用規制
・地球温暖化の抑制 ・ゼロエミッションの定着・維持、排出物削減(発生抑制)

積極的な環境保護活動を推進し、下記のテーマに取り組みます。

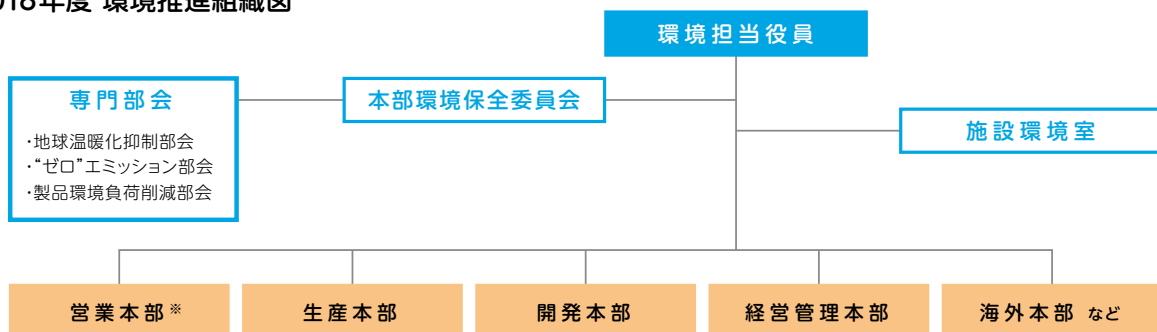
3 ・お客様へエコ製品の提供 ・地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を図ります。
・環境に配慮した資材調達や物流を推進します。 ・環境汚染の予防に取り組み、安全・安心を地域社会に提供します。

4 環境に関する情報開示に努めます。

5 この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開します。

環境推進体制

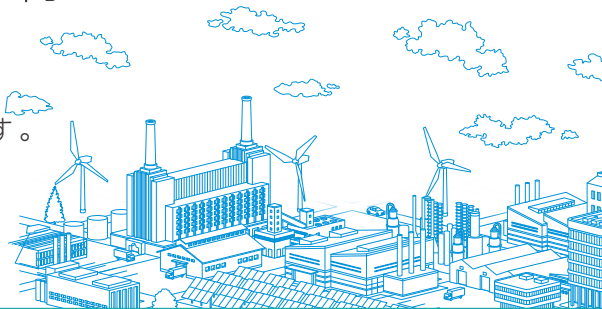
■2018年度 環境推進組織図



※工場敷地内の営業所を対象としています。

安全・安心な製品をお客様のもとへ

安全・安心な製品をお客様のもとへお届けするために、
業界屈指の試験設備で製品の評価や検証を行っています。
業界で屈指の試験設備や、2017年に導入した
業界初となる風雨試験設備の一部をご紹介します。



■名古屋ラボラトリ(研究開発センター内)

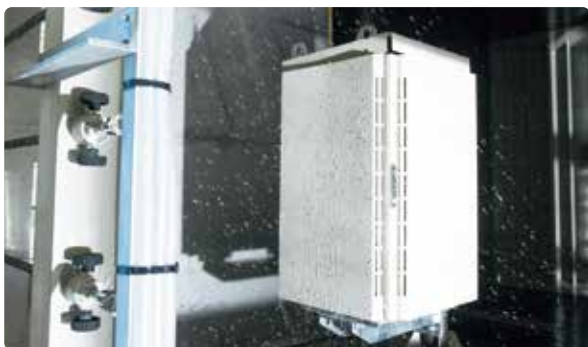


■菊川ラボラトリ 風雨・耐震試験棟

業界初

台風を再現できる 風雨試験設備

屋外で使用されるキャビネットは、台風や集中豪雨などの過酷な自然環境にさらされています。2017年、業界で初めて暴風雨を模擬できるシミュレーション設備を導入し、屋外キャビネットの防水性能や風圧に対する影響を確認できるようになりました。より安全・安心な製品開発に役立てています。



■風雨試験

地震を
再現

実際に発生した地震を 忠実に再現する試験設備

日本は、全世界で発生するマグニチュード6.0以上の地震の約2割が集中する地震大国です。2017年に導入した耐震試験設備は、3軸同時加振により、実際に発生した地震をより忠実に再現し、地震動が製品に与える影響を確認します。

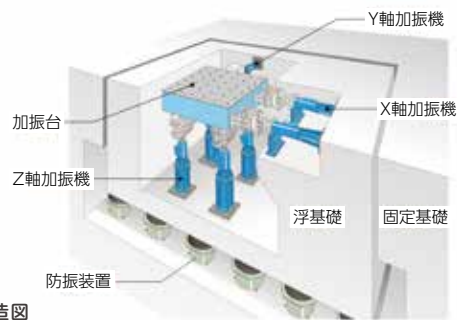


■耐震試験

業界初



■回流型風洞全体図



■試験設備構造図



■菊川ラボラトリ



試験技術を磨き、 信頼性を高める試験体制

本社・名古屋工場に隣接する名古屋ラボラトリ、基幹工場である菊川工場に隣接する菊川ラボラトリでは、充実した試験設備で風雨、耐震、防水、防塵、日射及び短絡試験をはじめとする徹底した評価試験を実施しています。



■防水試験



■防塵試験

■防塵試験後の製品

菊川ラボラトリは、IEC規格(IEC 60529:2013)・JIS規格(JIS C 0920:2003)に規定されているエンクロージャの防塵性、防水性を確認する試験所として、日本適合性認定協会(JAB)よりISO/IEC17025に基づいた認定を取得しています。

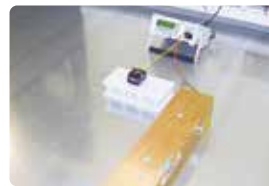
メーカーとしての誇り! 充実の試験設備の数々

業界初



■キャビネットの日射試験

業界初の3面同時照射可能な太陽光シミュレーション設備により、いつでも真夏の環境を再現し、熱的な影響を確認します。



■電氣的ファストランジェント・バースト試験

機器から発生する電氣的ノイズが他の機器に影響を与えるか評価します。



■キャビネットの圧縮試験

積雪による重みや物流保管時の段積みなど、各種圧縮荷重に対する性能を評価します。



■振動試験

製品に加わる輸送や設置された環境での振動を再現し、評価します。



■横荷重試験

キャビネットの耐荷重および扉に加わる風圧などの評価を行います。



■衝撃試験

製品に加わる輸送や設置された環境での衝撃を再現し、評価します。

お客様目線での品質保証活動



武内 昭裕

私たちの想い



試験評価により開発製品の確実な品質を目指します。

名古屋ラボラトリ 試験技術一係
武内 昭裕

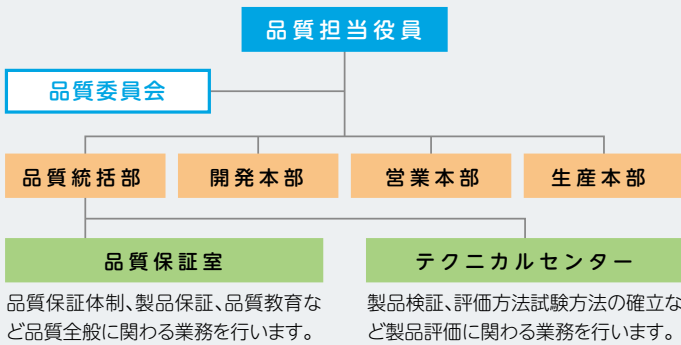
名古屋ラボラトリでは、開発している製品について日本工業規格(JIS)などの規格に則った試験を行い、製品に要求される性能を満たしていることを確認しています。

加えて、お客様に安心してご使用いただけるように、自分自身がお客様の立場になった場合に考えられる使用方法や使用環境を考慮した試験項目を開発部門に提案することで、当社製品の品質向上に取り組んでいます。

短絡試験



温度上昇試験



品質組織改革

2018年4月組織・機構改革にて品質保証部門を組織的に独立させました。行動規範である「正直な心と誠実な姿勢を貫く」ことが組織的に実現できるように、社員ひとりひとりの行動がお客様のための行動となるように活動しています。



品質統括部長 齊田 正一

2017年度実績

- 行為保証によるヒューマンエラー予防推進
- 小集団活動の活性化による品質向上
- 過去の事例の活用によりリスクの予見

2018年度目標

- 行為保証によるプロセス管理の強化
- 過去の事例を活用した品質予防活動の推進
- 小集団活動の活性化による品質改善の推進

ヒューマンエラー予防

お客様からの不満足のご意見を分析すると、ヒューマンエラーが大きな割合を占めています。ヒューマンエラー撲滅を目指し、新たな手法「行為保証」に取り組んでいます。



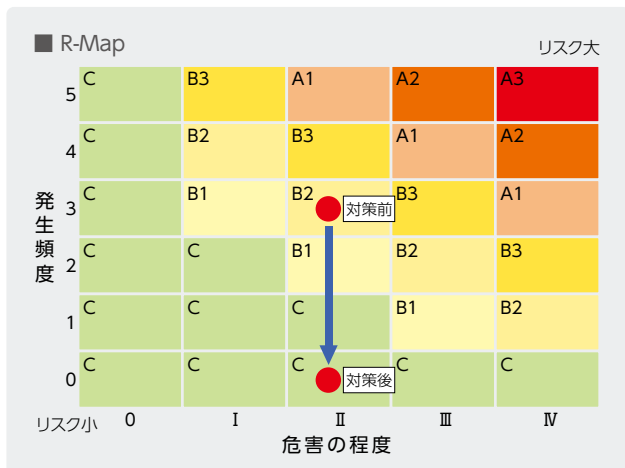
行為保証とは目的を持った動作の保証をするという考えで、作業に拘りを持って、生産を行っています。

- できれば管理からプロセス管理へ
- 品質ポイントの明確化と技術伝承
- 品質パトロールによる作業動作の確認

製品リスク予防活動

お客様に安全・安心な、より高い品質の製品を提供するため、製造物責任法(PL法)などの国内外の法律や社会規格を守り、品質レベルの向上を図っています。

R-Mapによる分析手法を利用して、製品リスクアセスメントを実施し、リスクを下げる活動を行っています。



アフターフォロー

お客様に満足いただける製品を使い続けていただくため、お客様からの不満足のご意見を集約し、場合によっては積極的な現地調査を実施させていただくことにより、製品の改善や次期製品の開発に役立てています。

また、お客様の大切な設備・装置・機器が安定して稼働を続けられるように修理・改造・技術サービスを提供しています。



充実した試験設備

耐震試験、IP試験、短絡試験をはじめとするさまざまな試験設備を使用し、製品の安全性や品質確認を実施しています。新製品開発時だけでなく、既存製品についても定期的に試験を実施し、信頼性の確認を行っています。



お客様に、 より大きな満足を提供



私たちの想い



Webで樹脂製キャビネットの穴加工サービス開始、
利便性を高めるシステムを提供します。

業務部 本社業務課
村島 博史

当社では、従来鉄製キャビネットの穴加工を行えるWebシステム「キャビスタ」を提供してきました。

今回、キャビスタに樹脂製キャビネットへの穴加工を機能追加し、お客様ニーズへの対応力がアップいたしました。

今後も信頼の技術と高品質で、お客様の作業効率アップを実現するシステムの提供に努めます。

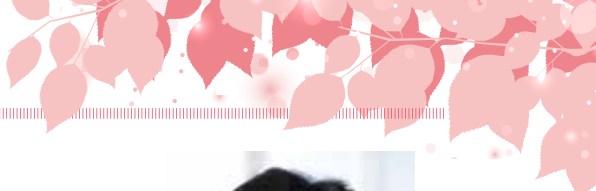
CABISTA

キャビスタ

キャビネット・プラボックス穴加工など
図面作成 Webシステム

精度の高い
穴加工を
実現!!





私たちは多様なニーズに適応したサービスをご提案します。

お客様に満足されるサービスを提供するため

- ① お客様の声をサービスへ反映する取り組み
- ② 利便性を高めるシステムの構築
- ③ 多様化する環境に対応ができる人材育成

などに取り組み、お客様から頼られるベストパートナーとしてご指名いただけるように、常に進化し続けていきます。



営業本部長 小出 行宏

2017年度実績

- キャビスタ・プラボックス穴加工新機能追加
- 感震ブレーカーの普及への取り組み
- 仙台、東京にて内覧会開催
- 70周年記念カレンダー製作

2018年度目標

- Webツールを利用した利便性向上
- プロモーション活動の強化
- 日東工業グループによる事業拡大

感震ブレーカーの普及に尽力



■感震ブレーカー

一般のお客様用パンフレットの制作

戸建てオーナー、賃貸オーナー、それぞれの訴求ポイントに合わせてイラストを交えて一般の方にもわかりやすい内容で制作しました。



販促展示什器の製作

お客様に当社製品をより知っていただくため、製品PR用として代理店様のカウンターなどに設置できる展示什器の製作を行いました。今回の展示什器は、サンプルを置くパターンから、パンフレット・製品Newsなどを置いてPRするパターンにも変更可能です。



サンプルを置いて展示するパターン



パンフレットを置いて展示するパターン

奈良県宇陀市松山地区に感震ブレーカーを寄贈

国の重要伝統的建造物群保存地区である奈良県「宇陀市松山地区」に感震ブレーカーを寄贈しました。今後、予想される南海トラフ地震などの大規模地震による復電(通電)火災から重要文化財の町並みを守ります。



■感震ブレーカー設置状態



■「宇陀市松山地区」の町並み

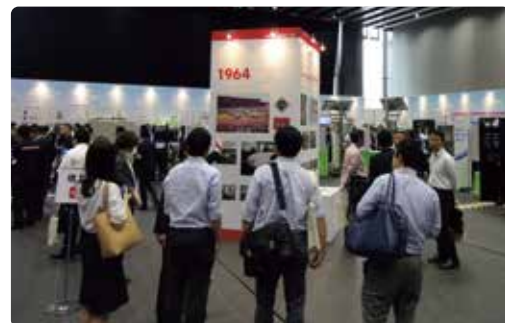
内覧会の開催

テーマ「安全・安心な都市を実現するために」

安全・安心な都市を実現するために必要な防災への取り組みやIoTなどの先端技術に関する製品を紹介する内覧会をグループ会社とともに東京と仙台的2箇所で開催しました。



■仙台内覧会



■東京内覧会

お客様とともに「営業本部」

お客様の喜びにつながる 新たな価値を創造



水上 実

茶之木 大輔

私たちの想い



2つの製品を同一 デザインコンセプトで開発しました。

機材開発部 第二グループ
水上 実

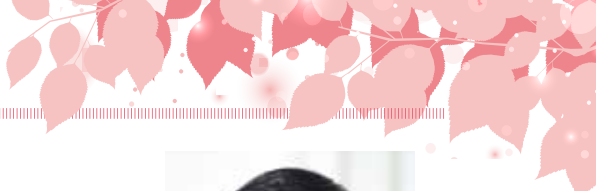


機材開発部 第一グループ
茶之木 大輔

ネットワーク工事における省施工ニーズの高まりと機器の小型化を背景に小型ラックとキャビネットを同一コンセプトで開発しました。コーナー部の形状はトルマリン(電気石)をモチーフにシャープなデザインで、軽さと丈夫さを兼ね備えていることを表現しました。右写真のように同一空間に壁掛け・据置きタイプなど設置状況が異なる場合でも統一感をもたせることが可能となります。

従来製品より軽量化し、ケーブル配線まで考慮した構造により設置や配線作業負担の大幅な軽減に貢献しています。





潜在的なニーズを発掘し、社会に必要とされる製品開発

わたしたち開発部門は、「お客様へ提供できるモノは何なのか?」「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」、原点を見つめなおし、顕在化されているものだけではなく、潜在的なニーズを発掘していきます。

「日東工業の製品を使って良かった」と感じていただけるよう、社会に必要とされる製品開発にチャレンジします。



開発本部長 箕浦 浩

2017年度実績

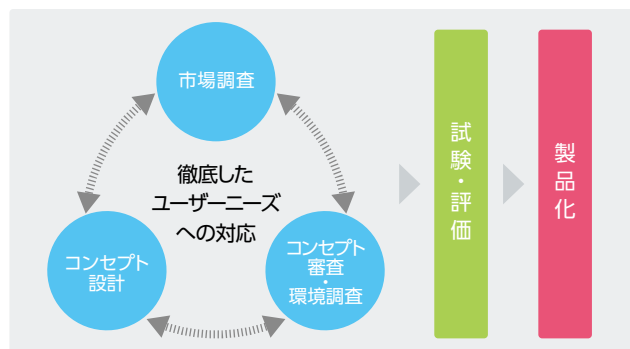
- クリーンエネルギー関連製品の開発
- マーケティング部門の強化
- グリーンフィット8件、グリーンサポート3件

2018年度目標

- 次世代のビジネスモデルにつながる商品開発
- お客様のニーズに応える商品を市場へ投入
- 環境に配慮した製品開発体制の継続

製品開発

「すべてはお客様のために」と、さまざまな角度から市場調査を行い、作業性・保守性・信頼性を追及した製品開発をしています。高い技術から生み出される製品は「高品質」、「高機能」、「低コスト」に加え「省資源化」、「リサイクル性」、「有害物質の廃止」など、環境負荷の低減を実現しています。



新しいアプローチから、明日をあかるくする自由な開発

新規開発部では“地震の脅威から文化財を守る”という大きな課題に取り組んでいます。2017年度には掛川城をはじめとする24の施設に地震IoTユニットを設置し、実証実験を開始しました。文化財は後世に残していかなければならない重要な財産です。この取り組みで災害から文化財を守り、ひいては地域の安全な街づくりに貢献したいと考えています。



■地震IoTユニット



■地震IoTユニットを設置した掛川城

環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。



地球環境を配慮した事業を支援する製品を「グリーンサポート」に認定しています。「グリーンサポート」は環境事業をテーマとして環境負荷の低減を支援する製品です。

小型ラック FVシリーズ

■ 製品質量 29%軽量化

Green Fit Green Support

グリーン購入法 適合製品

HUB収納キャビネット THDシリーズ

■ 施工時間 85%削減

■ 製品質量 18%軽量化

Green Fit Green Support

グリーン購入法 適合製品

感震機能付ブレーカ

■ 消費電力 44%削減

■ 製品体積 15%小型化

Green Fit

独立電源盤 (鉛蓄電池搭載タイプ)

■ 自立型ソーラースタンド 普及促進事業

Green Support

お客様とともに「開発本部」

個性尊重の精神に基づいた 企業活動



太郎館 季寛



気づくことが成長の原点です。
さらなる人材育成につながる研修を企画します。

人事部 人材開発課
太郎館 季寛

人材開発課では、従業員の採用活動はもちろんのこと、入社から定年退職まで研修や教育の企画および実施業務をとおりて従業員の成長をサポートしています。私は異動してきてまだ数ヵ月しか経っていませんが、これらの業務を通じて幅広い年代の方々と接することになり私自身も視野が広がっていると感じています。

最近の研修は、講師からの話を一方的に聴くだけの場ではなく、受講者同士が議論をするといった形式に変化してきており、その代表的なものとして「社長塾」が挙げられます。社長塾は、当社の社長自らが講師としてファシリテーターとなり、企業人として知っておくべき会社の基礎や経営戦略の講義に加え、会社と個人の成長について受講者と共に議論し共有する場です。

参加者の議論に我々も大きな刺激を受けていますが、今後も、何らかの「気づき」があり、「さらなる成長のきっかけ」になる研修を企画していきます。





私たちは一人ひとりの個性を尊重し、能力を活かす職場環境づくりを目指します。

人材こそ企業活動の源です。仕事を通じて個々の専門性や人間形成に磨きをかけ、社内はもとより社外またはグローバルに活躍できる人材を育成していきます。一人ひとりのワークライフバランスを大切に、いきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



人事部長 佐藤 嘉高

2017年度実績

- リフレッシュ休暇制度の取得率100%達成
- 育児休業者の復職率100%達成
- 有給取得率の向上

2018年度目標

- 時間外労働の低減
- リフレッシュ休暇制度の取得率100%達成
- 育児休業者の復職率100%達成

人材育成

「企業は人なり」との理念のもと、「正直な心と誠実な姿勢を貫く」さらに「価値創造の追及に努める」を行動指針として、人材開発に取り組んでいます。これらを具現化するために明確な教育体制を組み、階層別教育をはじめ各種専門教育による技能教育を推進しています。また、一般教養を高めるべく、自己啓発の支援制度の充実に力を注いでいます。

階層別教育	新人	監督・指導	統率・管理	内容
階層別教育	■ 入社時研修 ■ フォローアップ面談	■ 監督者新任研修 ■ 監督者強化研修	■ 管理者新任研修 ■ 管理者強化研修 ■ 上級管理者研修	入社してから、個々の能力に応じ階層別の教育を行います。
専門教育	■ 技術・開発 ■ 生産 ■ 営業 ■ 品質管理 ■ 総務 ■ 経理 ■ 人事・労務 ■ その他			配属された職種別に必要とされる知識・技能を身に付けます。
共通教育	■ キャリア開発研修 ■ 安全・衛生 ■ 公的資格取得 ■ 社外セミナー派遣 ■ 企業倫理 ■ その他			社内外にて共通に求められる知識を身に付けます。
自己啓発	■ 通信教育 ■ その他			自己のスキルアップを目指す社員を支援します。

働き方改革

身体、精神的な負担を減らし安心して働くことができる環境をつくるために、長時間労働の削減に積極的に取り組んでいます。また、フリーバカンス制度をはじめとした年次有給休暇の取得促進や、勤続年数により利用できるリフレッシュ休暇制度などを充実させ、その制度利用を促進しています。

● 時間外労働の上限時間および産業医面談の実施基準の推移 (単位: 時間)

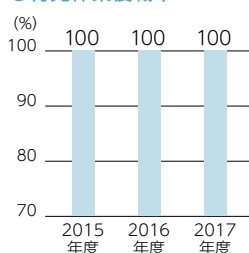
	2016年度	2017年度	2018年度	
36協定 特別条項 締結内容	年間上限時間	690	690	650
	月間上限時間 (努力目標)	130	100 (80)	80 (60)
	産業医面談 当社実施基準	月間時間 100	80	60
	直近2ヵ月 合計時間	140	140	110

ワークライフバランス

従業員の価値観やライフスタイルが多様化する中、仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)を図るため、各種社内制度の整備を進めています。2016年7月には育児短時間勤務制度を拡充(利用対象を3歳児までから小学3年生(9歳)までに延長)など、新たな対策も導入され、対象者の多くが利用しています。なお、近年の育児休業制度の取得率・復職率は100%であり、子育て世代の従業員が安心して働ける環境を整えており、2016年には近年の子育て支援に関する活動が認められ、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣による「くるみん認定」を受けています。



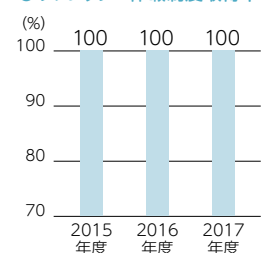
● 育児休業復職率



社員のリフレッシュ

ストレス社会において、定期的に心身のリフレッシュを図ることは、充実した社会生活を過ごすために大切なことです。当社では、「フリーバカンス休暇制度(毎年連続3日間)」「リフレッシュ休暇制度(40歳・50歳時連続2週間)」を設け、有給休暇の取得促進を図っています。また、2016年4月には福利厚生外部サービスである「福利厚生倶楽部」へ加入し従業員の余暇活動や私生活の支援制度も充実させています。なかでも、近年の「リフレッシュ休暇制度」の取得率は100%を維持しています。

● リフレッシュ休暇制度取得率



- フリーバカンス休暇制度**
従業員が年に一度、所定休日に有給休暇3日間を加えた連続した休みが取れる制度
- リフレッシュ休暇制度**
40歳、50歳を迎えた勤続10年以上の従業員が所定休日に有給休暇を10日間加え、連続した休みが取れる制度

従業員とともに(人事部)

高い倫理観、道徳観に根ざした コンプライアンス経営を実践



金山 春菜

私たちの想い



皆さん、子供の頃の夢を持ち続けていますか？
お客様の新たな価値創出に向け挑戦します。

生産技術部 技術開発グループ 新技術研究係
金山 春菜

私は幼い頃よりロボットアニメが大好きで、いつか自分もアニメに出て来よう
なロボットを操縦したいという一途な思いで一生懸命勉強し、大学では機械学
科を専攻してさまざまな知識を身につけてきました。その思いや知識を十分活か
せる会社として選んだのが日東工業です。今私は生産技術部技術開発グループ
に所属しAIやIoTといった最先端技術に触れながら「人と同様に働けるロ
ボット」を目指し、プログラミングや操作に四苦八苦の毎日ですが、苦勞して教え
たとおりにロボット達が動く姿を見ていると自分が操縦しているという気持ち
が湧き、愛着と共に子供の頃の夢に近づいているという充実感に包まれています。
今はまだ私のパートナーとなるロボットはこの小さな2体のみですが、いつか
はもっと多くのロボットが人と共に工場で働けるよう技術を磨き、私が操作したロ
ボット達が会社に貢献できるよう頑張ると共に自分の夢実現に向かい邁進した
いと思っています。まだまだ入社二年目の「ひよっこ」な私ですが、多くの人達に
支えられ毎日元気に頑張っています。





「顧客価値創出に向けたQCD」お客様の満足を得るものづくり

最適な品質、コスト、納期を実現するために「長年培った生産ノウハウと生産技術力の融合」ならびに「品質と生産性の両立」にこだわり続けていきます。そして地球環境に配慮したものづくりを進めて、お客様の新たな価値創出に向け挑戦し続けていきます。また、お客様によりレベルの高い製品を提供するには、当社のみならず、お取引先様のご協力は不可欠です。良きパートナーとして相互発展を図り、顧客満足創出のため、お取引先様と一体となったコンプライアンス活動を推進しています。



生産本部長 落合 基男

2017年度 実績

- 日東工業品質保証体制の構築
- コスト競争力の強化
- 環境変化に対応した生産体制の構築
- ヒューマノイドロボットの導入
- 最先端技術研究の推進

2018年度 目標

- 社員の品質意識の改革を図るとともに、顧客要求品質に応える体制を構築する
- コスト削減を極める
- フレキシブルな生産体制の構築
- 生産技術力の強化

公正・公平・透明な取引

- 購買部門では「法令遵守・企業倫理」を重視し、当社独自で作成した「購買部門行動計画」に基づき、調達活動に取り組んでいます。
- お取引先様の「品質・価格・納期・技術力」および、「環境への配慮・保全」などを総合的に判断して、「公正・公平な評価・選定」を行い、透明性のある取引を行っています。
- 購買担当者は、必要な知識や関連法規の習得に努めています。特に下請法教育については、中小企業庁委託「下請取引改善講習会」の受講を義務付けるなど、さらなるコンプライアンス向上を目指しています。

お取引先様との信頼関係

正しいコンプライアンスの実施には、お取引先様とのコミュニケーションは不可欠だと考えます。そのため購買部門は、Face To Faceでの意思疎通を図るため、「賀詞交換会」や「取引先監査」を定期的に行っています。これらの機会は、コンプライアンス活動を維持確認するのみでなく、お取引先様との信頼関係構築に繋がっています。



技術・技能伝承の取り組み

長年培った「コア技術・技能」を伝承していくため、「ラーニングセンター」の機能的な運営に努めています。競争力の源泉でもある「現場力・技術力」を高め、お客様からの信頼ならびに満足をいただけるよう、努めています。

【ラーニングセンターの役割】

- 1 会社全体の技術レベルのベースアップ維持
- 2 技能・ノウハウの伝承と次世代の人材育成
- 3 社員間交流による知識の創出



■ 安全体感装置による【安全教育】



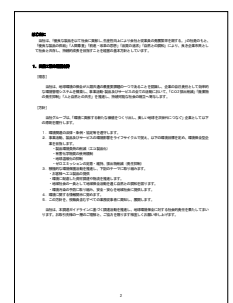
■ 5S・整理整頓トレーニング

グリーン調達・環境への配慮

「低環境負荷への取り組み・地球環境に配慮した製品化・含まれる有害化学物質への関心」は年々高まる傾向にあります。

当社では、環境取り組みへの基本的な考え方と、お取引先様へのご協力をお願いする「グリーン調達ガイドライン」を定めて、さらなる顧客満足向上を目指しています。

また、RoHS(特定有害物質使用制限)指令はもちろんのこと、JGSPSI(グリーン調達調査共通化協議会)に準拠した部材への切替を推進するとともに、廃棄物減量化の推進や、輸送による環境負荷削減(アイドリングストップ・輸送の合理化)など、お取引先様と一体となって環境活動に取り組んでいます。



取引先とともに「生産本部」

株主価値を高める 経営を実践



金森 一樹

和多田 亮

私たちの想い



株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを通じて企業価値の向上を目指します。

総務部 総務課
和多田 亮



総務部 総務課
金森 一樹

株主・投資家の皆様と信頼関係を構築するためには、積極的かつ継続的なIR活動や、適時適切な情報開示が重要となります。

当社の現状や展望を正しくご理解いただくために、機関投資家向け決算説明会や個人投資家向け会社説明会の実施およびIRイベントへの参加など、さまざまなIR活動を通じて直接交流できる機会の拡大に努めています。

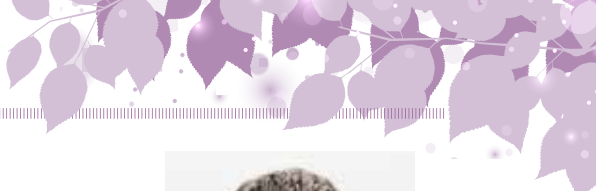
このような活動を続けることで企業認知度および企業価値向上を目指すとともに、株主・投資家の皆様とより強い信頼関係を構築できるよう今後も努力を続けていきます。



IRイベント



IR活動の
充実



株主・投資家とのコミュニケーションの充実を図る

過去の成功を守ることや目先の利益を追うことを優先し、未来への投資を後回しにするようなことはしません。株主価値を最大化する中長期的な成長と持続的な利益の創出を経営目標として、変わらず良い会社であり続けるために改善・改革を日々積み重ねます。

成長シナリオを分かりやすく開示し、当社の目指す姿、当社の強みを一人でも多くの方にご理解いただきたいと思います。また、株主の皆様との対話の中でいただいた意見を経営にも反映させていただきたいと考えています。日東工業という会社を正しくご理解いただき、適正な評価をいただけるよう説明責任を果たしていくことがわれわれの使命です。



総務部長 蔵 辰紀

2017年度実績

- 2018年3月期1株当たり年間配当金40円(中間20円・期末20円)
- 配当性向56.1%(8期連続配当性向30%以上)
- 名証IRエキスポ2017出展、日経IR・投資フェア2017出展
- 機関投資家One on Oneミーティング実施 63回
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会実施 2回
- 個人投資家向け会社説明会実施 2回

2018年度目標

- 2019年3月期1株当たり年間配当金40円(中間20円・期末20円)
- 配当性向38.5%
- 名証IRエキスポ2018出展、日経IR・投資フェア2018出展
- 機関投資家One on Oneミーティング実施 70回
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の実施
- 個人投資家向け会社説明会の実施(東京・名古屋)

開かれた株主総会

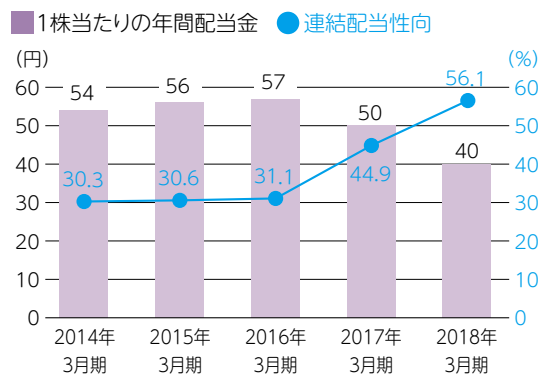
株主総会は当社について理解していただく絶好の機会と捉え、「開かれた株主総会」の運営を心がけています。株主の皆様へ発送する招集通知に関しては、発送日前インターネット開示や、インターネットによる議決権行使を実施しているほか、外国人株主の皆様のために招集通知の一部英訳化を実施するなど、株主の皆様への権利行使における環境作りの充実を図っています。また、株主総会終了後には当社ショールーム「PLAZA NEXTA」へのご案内を行い、当社の魅力や将来性をお伝えするなど、株主の皆様とのコミュニケーションの充実に努めています。



株主還元

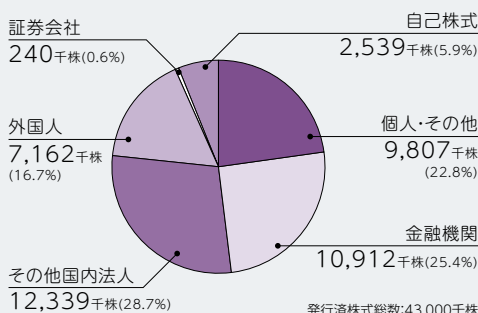
株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に連結純資産配当率等を勘案して実施しています。また、必要に応じて、自己株式の取得・消却など資本効率向上のための諸施策を実施し、株主の皆様に応えています。

● 1株当たり年間配当金／連結配当性向の推移



株式の状況

● 所有者別分布の状況(2018年3月31日現在)



● 株価チャートと出来高の推移



新しい価値を作り出すことで 社会へ貢献



松本 健太

私たちの想い



クリーンなエネルギーを 安定的に供給します。

唐津工場 総務課
松本 健太

近年異常気象が多発しているなか、大気中の二酸化炭素の増加による地球温暖化の問題は深刻な状況となり、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの重要性は年々高まっています。このようななか、唐津工場では2013年5月より太陽光発電設備1000kWの運用を開始し、2018年3月までに約762万kWhを発電しています。

私は電気主任技術者として毎日キュービクルやソーラーパネルの点検、発電量の確認を行うほか、発電設備が安定した出力を発揮できるよう、換気フィルタの清掃や発電設備周辺の草刈りなども行い、発電能力の維持や安全性の確保に努めています。

こうした作業は地道ですが、発電事業を担う上で重要な役割と認識しています。今後もクリーンな電力を安定的に供給できるように責任を果たしていきます。





美しい地球を次世代へつなぐためにできること

今、「持続可能な社会（明るい未来）」を目指す上で、

① **低炭素社会** ② **循環型社会** ③ **自然共生社会** を構築することが、重要とされています。

当社では、環境方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代へつなぐ」とし、地球環境に配慮した製品づくりを進めることで、こうした3つの社会の構築に貢献しています。



施設環境室長 安藤 多人

2017年度実績

- CO₂削減／2016年基準4.5%削減
- 排出量の削減／2016年基準原単位15%削減
- エコ製品認定率／100%
- 有害物質の使用規制／11製品中10製品がCMS(製品含有化学物質管理)基準に適合

2018年度目標

- CO₂削減／2016年基準2%削減
- 排出量の削減／2016年基準原単位1%削減
- エコ製品認定率／70%以上
- 有害物質の使用規制／CMS要領の運用管理

自然共生社会を目指して

私たちの事業活動は、製品を製造する上で、材料・水といった自然の恩恵を受けて成り立っており、その事業活動によって自然を破壊してしまっては持続可能な社会を構築することはできません。当社では、以下の地域貢献を進めています。

「企業の森づくり活動」の取り組み

東北日東工業(株)

2012年に岩手県・花巻市・東北日東工業(株)の3者間で「企業の森づくり活動」の協定を締結して以来、毎年森林保全活動を実施しています。2017年度は、胡四王山の草刈りなどを2回実施したのに加え、昨年度よりもエリアを広げた植樹活動や保管理活動を進めています。宮沢賢治が愛した花巻市の美しい自然環境を次世代に残せるよう、今後も活動に取り組んでいきます。



「植樹作業」への参加

磐田工場

静岡県では、基本理念である「持続可能な水循環社会の形成」に向けて、磐田市環境保全推進協議会を軸としたさまざまな地下水保全活動を実施しています。

地下水を利用している磐田工場ではこの活動に賛同し、2017年度の活動として敷地地区の山林の間伐へ参加しています。



低炭素社会を目指して

私たちは、地球温暖化の抑制を図り、低炭素社会を目指すために、以下の活動を進めています。

- **グリーンエネルギーの提供**
- **省エネに寄与する設備の導入**
- **業務改善によるエネルギー使用量の削減** など

ライトダウンキャンペーンへの継続参加

全社

当社では環境省が実施する「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に継続して参加しており、全工場で見板灯などを消灯し、温暖化抑制を推進しています。2017年度は、キャンペーン実施日の6月21日と7月7日に実施しました。



■ 通常



■ キャンペーン期間

循環型社会を目指して

限りある資源を大切にするために、私たちは以下の排出物削減に取り組み、循環型社会の構築に寄与していきます。

- **2003年度に達成したゼロエミッションを維持**
- **分別の徹底による資源の有効活用**
- **廃棄物処理業者を定期的に訪問し情報収集**
- **業務改善による排出物の発生抑制** など

産業廃棄物処分場の視察

全社

不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分業および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要と考えます。当社では社内認定を受けた社員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、指定のチェックシートに従って処分状況・マニフェスト管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認すると共に、環境負荷低減に努めている取引先との付き合いを深めています。



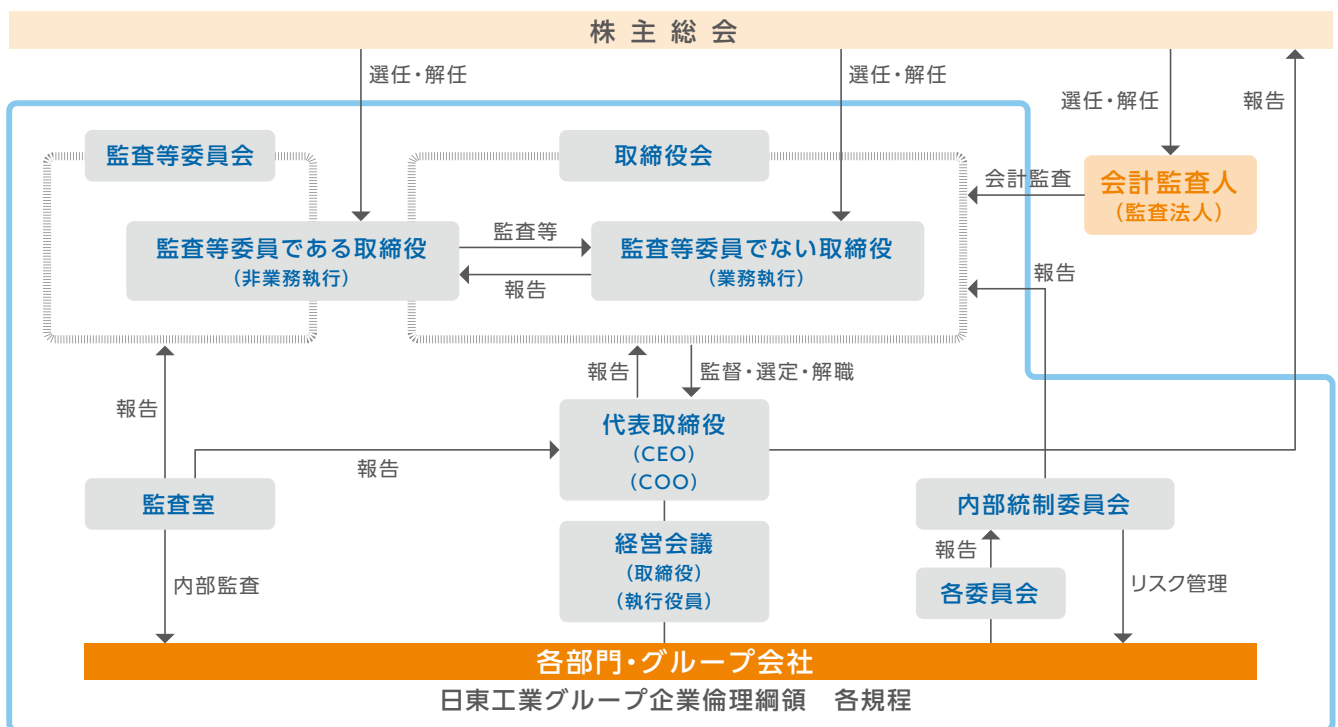
企業ガバナンス

「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」の社是のもと、長期ビジョン「信頼、技術、貢献～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指します。

コーポレートガバナンスの体制の概要

当社は、良心に基づいた誠実な行動と公明正大な経営を常に心がけ、ステークホルダーとの信頼関係を強化していくことを大切に、健全でかつ透明性が高く、経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築します。また、公正で規律あるコーポレートガバナンスを構築し、持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目指します。

この基本的な考え方のもと、当社は、監査等委員会設置会社の機関設計を採用しています。



当社は監査等委員会設置会社です。取締役による多面的な検討と的確な意思決定および業務執行を行う一方、監査等委員である非業務執行取締役(複数の社外取締役を含む)で構成する監査等委員会を設置しています。その監査等委員に対しては、取締役会における議決権を付与することで監視・監督の一層の強化を図っています。各機関につきましては以下のとおりです。

1) 取締役会

取締役会は、取締役会規程に基づき、取締役6名(監査等委員である取締役を除く。)および監査等委員である取締役4名(うち社外取締役3名)により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、法令、定款または取締役会規程に定める重要事項の決定や、重要な職務の執行状況報告およびその監督を行っています。社外取締役3名を含む監査等委員4名全員の出席のもと、公正・中立な立場より経営上の重要事項について積極的に助言や意見を求め、監視・監督機能の強化と円滑な運営に努めています。

3) 内部監査体制

業務部門から独立した監査室(4名)を設け、内部監査規程に基づき、当社およびグループ会社に対し、法令および社内規程の遵守状況、ならびに業務の効率性等について検証・評価および改善指示を行っています。監査結果については取締役社長に報告し、業務の効率性、健全性の維持・向上に努めるとともに、監査等委員に対し毎月業務監査内容についての報告を行っています。

2) 監査等委員会

監査等委員会は監査等委員である取締役4名(うち社外取締役3名を含む。)で構成しています。監査等委員会の定める監査等委員会監査等基準に基づき、監査等委員による重要な会議への出席や会社の業務および財産の状況に関する調査等を通じて、取締役会決議その他における取締役の意思決定状況および監督業務の履行状況等の監視・監督、検証を行っています。監査の実施状況とその結果については定期的に取締役社長および取締役会に報告され、必要があると認めたときは助言または勧告その他状況に応じた適切な措置を講じています。

4) 外部監査体制

当社は有限責任 あずさ監査法人との間で監査契約を締結し、会計監査を受けています。有限責任 あずさ監査法人は監査等委員会とも定例的および必要に応じて都度会合を行い、会計業務に関する報告を受け意見交換を行っています。

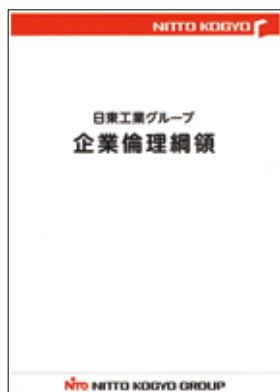
コンプライアンスは企業活動を支える重要な基盤

コンプライアンス体制の整備は、健全で効率的な企業活動を支える重要な基盤であり、これからも社会に信頼され貢献する企業であり続けるためにも、ますます重要になっています。

日東工業グループは、設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を構築してきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力によって作り上げた宝物です。これらを一層高め、次世代に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務であると考えています。

コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配布しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。



通報窓口の設置

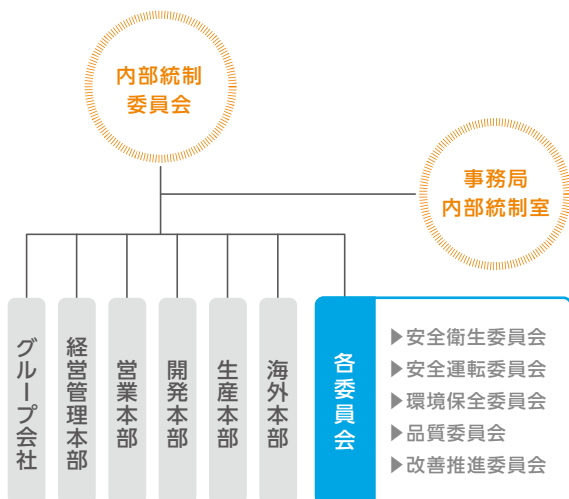
企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」と海外対応も可能な社外相談窓口「社外ホットライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏れいすることがないように徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

内部統制システムの構築

取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。

グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。

■内部統制委員会 組織図

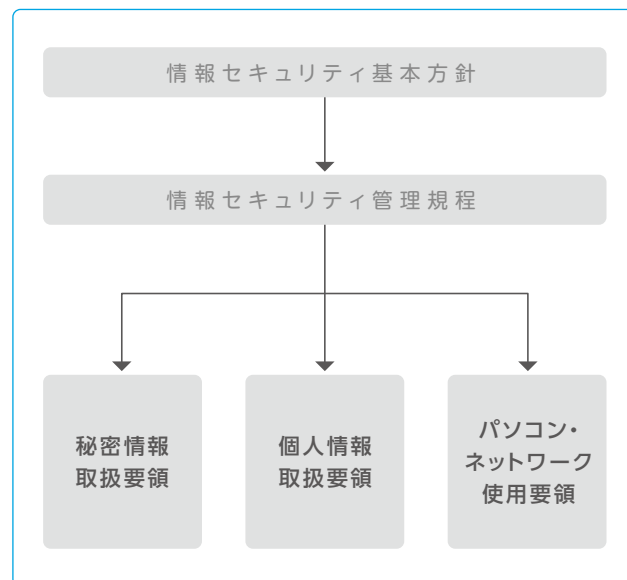


情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。

情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報はもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針を策定し、情報セキュリティ対策を実施しています。

また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的な情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。

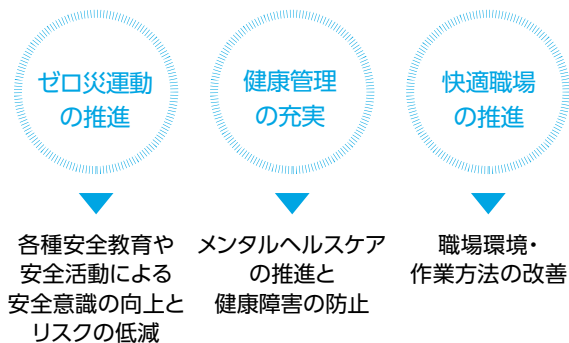


安全・安心な職場づくり

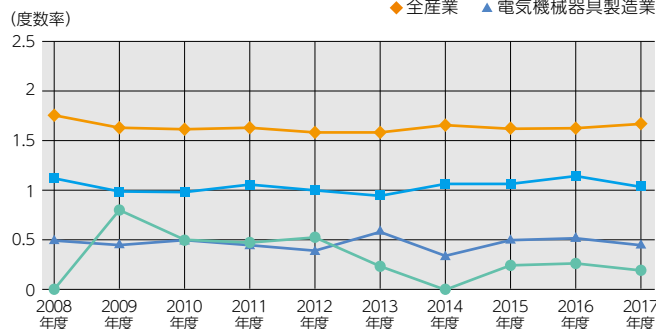
本社の「安全衛生総括者」が中心となって安全管理体制を整備し、従業員がいきいきと安心して働ける快適な職場づくりを目指しています。

安全衛生への取り組み

「安全を築き、健康を保つ」をスローガンに、従業員の安全と健康を守るよう安全衛生活動に取り組んでいます。



●業務上災害の度数率



度数率…100万時間当りの死傷者数
※日東工業グループの数値は派遣社員含む

安全衛生活動

危険予知訓練(KYT)、ヒヤリハット報告などの安全活動による従業員の安全意識の向上、リスクアセスメント活動によるリスクの低減、安全衛生・5S巡視、産業医巡視、経営トップ層による巡視などの職場巡視活動、メンタルヘルス教育の実施など、健康で安全に働ける職場づくりに努めています。



交通安全への取り組み

地域住民の安全と社員の交通マナー向上のため、毎月10日に各工場周辺で交通立番を実施しています。

また、車通勤の社員や、車両運転責任者には年1回の安全運転講習の実施、通勤事故防止3か条(1.早めの出勤を心掛ける 2.抜け道・近道をしない 3.退社帰宅時に急がない)の推進、駐車場での事故撲滅運動、全社有車にテレマティクス車載機を装着して車両の速度超過・急発進・急停車などの運行状況を把握するなど、安全運転確保に取り組んでいます。

災害対策への取り組み

大規模災害などの緊急事態に備え、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、BCP(事業継続計画)訓練の定期的な実施や、各工場単位で放水訓練・避難訓練などの防災訓練を行っています。

また、負傷者への対応をするため、各工場・職場に救急隊員を任命し、毎年定期的に応急処置の訓練や、AED(自動体外式除細動器)の使用方法についての訓練を行っています。

社会貢献

日東工業グループでは地域社会の発展に貢献することは重要な役割だと考え、さまざまなステークホルダーの皆様の満足向上を図り、企業価値を高める活動に取り組んでいます。

国の重要文化財を守る ～文化財や伝統のある建物を未来へ～

大地震による電気火災から、国の重要文化財を守る活動を行っています。

地域へ感震ブレーカーを寄贈

今後発生が予想される大地震による電気火災から重要文化財を保護するために、掛川城御殿などに感震ブレーカーを寄贈しました。重要文化財の火災による価値の損失を防ぐため、積極的に文化財の保護に取り組んでいます。



■奈良県宇陀市松山地区



■野木町 煉瓦窯



■掛川城御殿



地域振興への取り組み ～地域社会とともに～

イベント協賛やボランティア活動への参加をととして、豊かな社会の実現をサポートしています。

ながくてサイエンスフェスティバルへ出展 本社・名古屋工場

子供たちに理科の面白さを知ってもらう
愛知県長久手市で開催される「ながくてサイエンスフェスティバル」に出展し、簡単な工作と体験をととして理科の面白さを伝えています。2017年度に出展した電気の仕組みを教えるオリジナル釣竿は、地域の小学校でも活用され、理科の学習のサポートとして使われています。



「地域の清掃活動ボランティア」 本社・名古屋工場

支え合える地域づくりを目指して
“地域との共生”をモットーに、本社・名古屋工場では年2回、有メンバーや家族、友人が集まり、地域住民や近隣企業の方々とともに工場周辺の清掃活動を行っています。



環境保全への取り組み ～自然の豊かさを未来に受け継ぐ～

環境や社会と共生したより良い社会の発展を目指した活動を続けています。

みどり豊かな「公園工場」 本社・名古屋工場

周辺地域と調和した「公益のある企業でありたい」、「環境と共生したみどり豊かな風景を楽しめる生活環境をつくりたい」という創業者の精神のもと、自然を融合させた「公園工場」をつくり、環境に配慮した生産活動を行っています。

植栽の随所に彫刻などの芸術作品が配置され、地域の方々や社員の憩いの場となっています。





ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日東工業は、Fun to Shareに賛同しています。



ノンVOC(Volatile Organic Compound)インキ

植物油インキの比率をほぼ100%に高めたもの。大気中への有機化合物の揮発はほとんどありません。



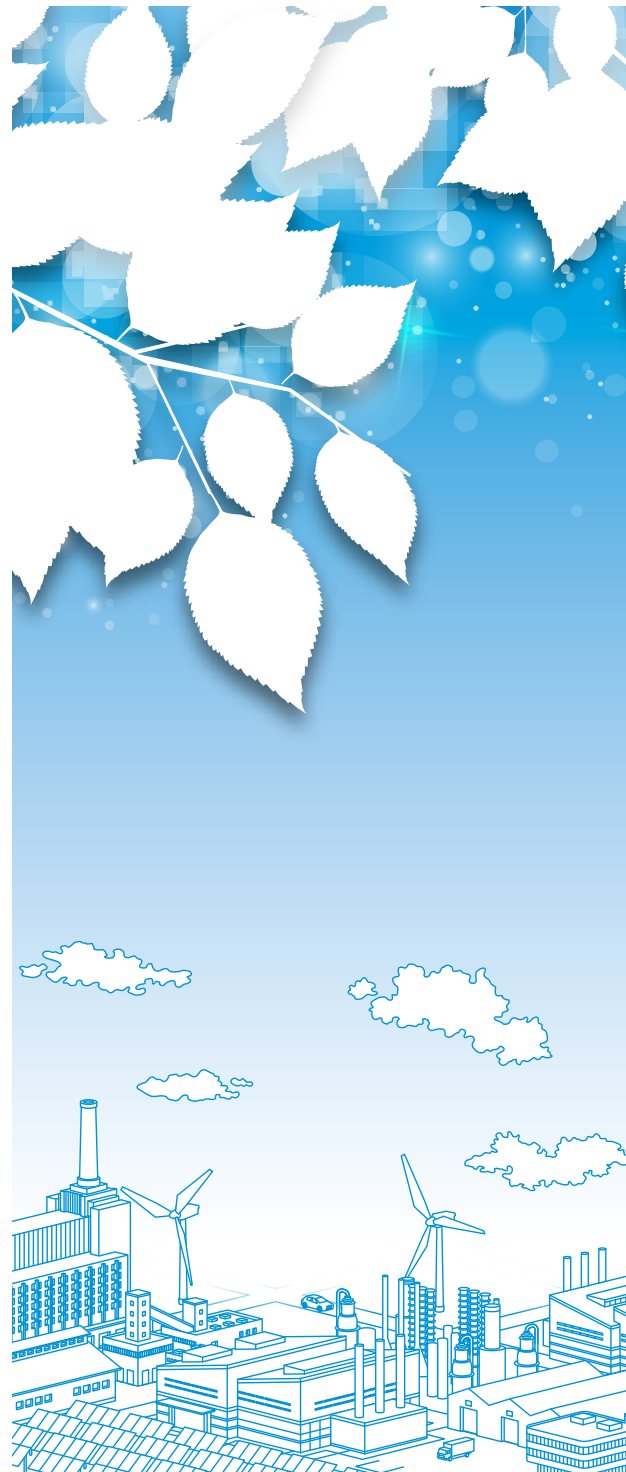
FSC® 認証用紙

この印刷物には、FSC® 認証用紙が使用されています。



Waterless

印刷時に有害な廃液がでない「水無し印刷」で印刷しています。



NITO 日東工業株式会社

2018年10月発行

発行部署／お問合わせ先

広報室 広報課

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL (0561) 64-0123 FAX (0561) 62-1300

<https://www.nito.co.jp/>

SP-652 0110.208SSSN
OM10ILC6